

薬草園だより

No. 74

Apr. 1 2014

いよいよ新学期が始まります！！今年1年頑張っていきましょう。



←レンギョウ(もくせい科) 生薬名:連翹

薬効部位:果実 薬効:抗菌作用, 消炎
花言葉:叶えられた希望

前号で紹介したシナレンギョウの花葉は細長く尖っているのに対し、レンギョウの花葉は卵状で円頭。花は前年枝の葉腋に1個から数個つく。漢方処方:荊芥連翹湯

エンゴサク(ケシ科) 生薬:延胡索→

薬効部位:塊茎 薬効:鎮痙、鎮痛
花言葉:妖精たちの秘密の舞踏会

花の前方は唇型に開き、後方は長い筒状に伸びている。花冠の基部より後方に突き出た部分を“距”という。漢方処方:安中散



↓ポウシュンカ
(もくれん科) 生薬:辛夷

薬効部位:花蕾 薬効:鎮静、鎮痛
No.70で紹介したポウシュンカが開花しました！ポウシュンカは花のエキスが化粧品として利用されています。漢方処方:辛夷清肺湯



↑トケイソウ(トケイソウ科)

別名:パッションフラワー
花言葉:聖なる愛
花が時計の文字盤と針に似て美しいので観賞用とされる。名前の由来は16世紀南米に渡ったイエズス会士がこの花を見て、フランチェスコが夢に見たと伝えられる十字架上の花と信じ、〈受難の花〉(Passion=受難)と呼んだ。



↓ソメイヨシノ(バラ科)

近縁種の子葉桜の樹皮は桜皮という生薬で、薬効は鎮咳、去痰、排膿である。華岡青洲が創った十味敗毒散(湯)に配合されていた。なお、現在使われている十味敗毒湯の多くには、桜皮の代わりにボクソク(樺嫩)が用いられています。

↑ヒマラヤユキノシ
(ユキノシタ科)

花言葉:順応、忍耐

ヒマラヤ地方原産といわれていましたが、実は雑種起源で、その両親についてははっきりしていません。

